

はだの 農業委員会だより

第114号
平成24年7月発行

編集・発行

秦野市農業委員会

〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号

TEL 0463-82-9654

E-mail noui@city.hadano.kanagawa.jp

夏本番! ブルーベリー狩り



ラビットアイ系のブルーベリーが最盛期を迎えています。新鮮で美味しいブルーベリーに来園者は大満足です。



J Aはだのブルーベリー研究会では、市内の摘み取り農園や直売所・加工所を紹介した秦野市ブルーベリー園マップを作成し、じばさんずや秦野市観光協会などで配布しています。

この夏、秦野のブルーベリー園を訪ねてみませんか？

おもな内容

■ 平成24年度農業委員会活動計画	2	■ 秦野市平成24年度予算 他	6
■ 新農業委員紹介	3	■ 相談コーナー 他	7
■ 支援センター通信	4	■ カメラスケッチ 他	8
■ 農家の声	5		

平成24年度

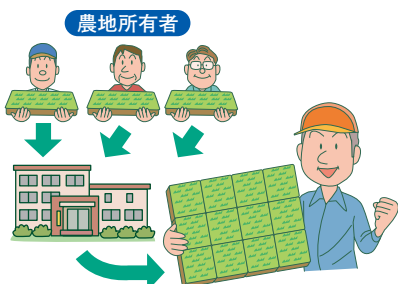
農業委員会活動計画

秦野市農業委員会では、農業委員会の適正な事務実施を図るため、農業者等からの意見募集の結果を踏まえて平成24年度の目標及び達成に向けた活動計画を決定しました。

認定農業者制度の普及や同制度を活用した経営改善指導を拡大し、認定農業者等担い手育成及び確保を図ります。

○**認定農業者等担い手の育成及び確保**

○**遊休農地の解消**
遊休農地への指導を行うとともに、農地の利用状況調査を行い、遊休農地の基盤整備等による優良農地への回復を図ります。



○**担い手への農地の利用集積**
農地銀行制度を活用し、認定農業者等担い手農家への農地の集積を図ります。



○**違反転用への適正な対応**
違反状態が長引くと是正が難しくなるため、農地パトロール等により新規の違反を抑えるとともに、違反者への指導強化により早期是正を図ります。

新体制でスタート

秦野市農業委員会

任期満了に伴う農業委員の改選が行われ、6月21日付けで女性農業委員3名を含む新農業委員25名が決まりました。また、6月25日開催の総会において新役員が決まりました。

会長 和田 稔

(柳川)

会長職務代理

向原 勉

(小蓑毛)



6月25日に開かれた初総会の様子

力強い農業、農村再生の実現を

平成24年度全国農業委員会会長大会

5月31日、全国農業委員会会長大会が東京都内の日比谷公会堂で開かれました。大会では戸別所得補償制度の見直しや農地の確保と有効利用対策の強化などについて「持続可能な力強い農業の実現と農村の再生に向けた提案決議」のほか、環太平洋連携協定(TPP)交渉への参加反対を求める要請決議を行いました。大会終了後に本県の参加者

は、県選出国会議員に本大会の決議と本県税制要望の実現のための要請活動を行いました。



神奈川県からは農業委員会会長ら38人が参加しました。

〈提案決議の主な内容〉
○持続可能な力強い農業の実現のために

- ① 戸別所得補償制度の見直し
- ② 農地の確保対策の強化
- ③ 農地の有効利用対策の強化
- ④ 担い手・経営対策の強化
- ⑤ 新規就農・人材対策の強化
- ⑥ 地域振興対策の強化
- ⑦ 食の安全・安心対策の推進
- 東日本大震災・原発事故への万全の対応
- 消費税率引き上げ・相続税課税強化への慎重な対応
- 農業委員会組織の体制と機能強化

平成24年度

農地基本台帳集計結果

- 農家戸数 2,162戸
- 農業従事者数 4,167人
- 経営農地面積 1,282.4ha

農地基本台帳に登録されている農家経営主が亡くなったなど、登録事項に変更がある場合は、必ず農業委員会事務局までご連絡ください。

新 農業委員決まる!

任期満了に伴う農業委員の改選が行われ、6月21日付けで新しい農業委員に次の25名が決まりました。
任期は、平成27年6月20日までです。
みなさんよろしく願いいたします。

(◎は会長・○は職務代理) (議席順)



とりうみ ひさもと
鳥海 久元
公選
名古屋 312
☎ 81-8462



いし い ひろし
石井 弘
公選
上大槻 1136
☎ 81-2242



いとう しんいち
伊藤 伸一
公選
鶴巻 2356
☎ 77-3503



たかはし のぶよし
高橋 信義
公選
下大槻 1214-1
☎ 77-1740



おおつ しげる
大津 繁
公選
東田原 1011
☎ 81-8733



くぼたりのりこ
久保寺則子
議会推薦
戸川 523
☎ 75-0575



いしだ いさむ
石田 勇
公選
横野 476
☎ 75-0344



せきの しんいち
関野 進一
公選
栃窪 228
☎ 88-2490



◎ わだ しん
和田 稔
公選
柳川 583
☎ 88-3860



たかはし けんじ
高橋 謙二
公選
南矢名 901
☎ 77-0749



おの かつお
小野 一夫
公選
千村 3-30-17
☎ 88-4117



こんどう しんいち
近藤 信一
公選
西田原 228
☎ 81-8757



きむら ますみ
木村 真澄
議会
下大槻 192-28
☎ 77-5714



まつした いさお
松下 勲男
公選
本町 3-5-12
☎ 81-6388



かたくら てるお
片倉 照雄
公選
堀川 575
☎ 88-3201



あいはら くにお
相原 國雄
公選
菩提 500-1
☎ 75-0759



はやし みちひろ
林 道弘
公選
戸川 86-6
☎ 75-3954



うちだ たもつ
内田 保
公選
三廻部 207
☎ 88-1562



もりや たかし
守屋 隆
公選
大秦町 2-39
☎ 81-2729



◎ むこうほら つとむ
向原 勉
公選
小蓑毛 8
☎ 81-4186



わだ ひろしき
和田 厚行
議会
菖蒲 1643
☎ 88-7897



くさやま こうすけ
草山 光右
公選
平沢 1419
☎ 81-0493



ふるや しげお
古谷 茂男
農協
寺山 398
☎ 81-5751



きりやま かずよし
桐生 一義
公選
堀西 1206
☎ 88-6262



しみず ふみこ
清水富美子
議会推薦
鶴巻南 3-2-9
☎ 77-2138



支援センター通信

市民参加で農地を再生 荒廃農地解消実践活動

耕作放棄地を解消し 新規就農者へ

7月1日、農業委員、荒廃農地解消市民ボランティアら25名が参加し草刈りなどの荒廃農地解消作業を行いました。

この農地は、長い間、作付けされていなかったために荒廃農地となり、周辺の農地に影響を及ぼしていました。

農業委員は、就任後、初めての荒廃農地解消作業となり皆熱心に取り組んでいました。参加した農業委員は、「このような活動はとても良いこと



なので今後も積極的に参加したい。」と話していました。

解消作業は順調に進み午前中にはすっきりきれいになり、いつでも作付けできる状態になりました。

解消したこの農地は、8月から、はだの市民農業塾を卒業し新規就農した方が露地野菜を作付けしていく予定です。

耕作放棄地を解消した農地で大豆播種

6月23日、荒廃農地解消市民ボランティアが中心となり大豆の播種が行われました。

この農地は昨年11月12日に、農業委員、荒廃農地解消市民ボランティアら23名が参加し草刈りなどの解消作業を行った約20aの農地です。

農地の借り手が見つかるまでの間、再び耕作放棄地にならないように、サツマイモと大豆の作付けが行われました。来年2月には、収穫した大豆

を使つての味噌作りが行われる予定です。



農産加工所を視察

はだの市民農業塾

6月19日、はだの市民農業塾農産加工起業セミナー受講者9名が、市内の生産者の農産加工所を視察しました。この視察は、実際に生産販売を行っている先輩起業者の経験談を聞き、農産加工品の製造販売を始めるためのヒントになればと、毎年行っています。

視察した加工所は、洪沢の「ふみちゃん工房」、千村の「千村若竹加工所」と小蓑毛の「蓑毛農産物加工グループ」の3

か所で、それぞれ菓子、食品、惣菜製造業の届出や許認可を受けてじばさんずなどに出荷しています。受講生たちは、先輩起業者から販売方法や起業までの苦労などについて熱心に聞いていました。



こんなとき 農地銀行へ



- 直売が順調なのでもう少し農地を増やしたい
- 経営規模を拡大したい
- 隣の畑を借りて効率を良くしたい



利用権設定



- 荒れてしまう前に誰か耕作してくれないかな
- 後継者もないし、高齢だし、借り手を探したい



- * 利用権設定では、利用期間（賃借期間）が終了すれば農地が戻ってきます。
- * 利用権設定の手続き、利用期間終了のお知らせは農業委員会が行うので安心です。

ご相談は、地元の農業委員、お近くの農協の各支所や農業委員会事務局（82-9654）に

農業委員会

事務局人事

（平成24年4月1日）

お世話になりました。
越地 博

よろしく申し上げます。
栗原 文雄

（清掃事業所から）



農家の声



こだわりのバラ作り

石田 勝博（曾屋一丁目）



100%市場出荷で、直売や小売は、ほぼ皆無に等しいです。なぜこのような経営を行っているかというバラ作りに加えて直売や小売まで始めてしまうと、私の性格上、どれも中途半端になってしまふと思ひ、直売や小売りに裂ける時間があったら、その時間をバラ作りに使おうと思つたからです。

私は弘法山の麓でガラス温室600坪で土耕栽培にこだわってバラ作りをしています。元々は父が1976年にカーネーションからバラ栽培に変わったのをきっかけに、農業高校から農業大学校に行き卒業後、下大槻の石井バラ園で2年間住み込み研修後、22歳でバラ園を継ぎました。現在は私と妻を主体に忙しい時には両親と弟に手伝ってもらいながら経営を行っています。我が家のバラの販売方法は今の時代としては珍しい

現在、出荷している市場は「東京フラワーステーションジャパン（F A J）」と大阪の「なにわ花いちば」の2市場で両市場ともに保冷車による水の入った桶を使用したバケツ出荷を行っています。これにより鮮度の良いバラを市場に届けられるようになったと思ひます。今、我が家のバラ作りでこだわっていることは、花切りと花の選別作業です。まず、花切りですが花の開き具合を揃えるために季節ごとに妻と

人情に助けられて

井上 君子（三廻部）



三廻部は、秦野盆地の西の端に位置し、良く晴れた日には三浦半島から房総半島まで見渡せるとも住みやすい所です。

嫁いで16年間は子育てと介護の日々が続きました。現在のようない介護制度はありませんでしたので、ご近所の助けがあり何とか乗り切ることができました。

舅が体調を崩した頃から、舅に代わって畑に出るようになりました。野菜が大好きな私には自分の畑で採れたものは何よりのご馳走です。天の恵みを受けてゆっくりと育った野菜の味は格別です。また、旬の採りたて野菜の

おいしさを知ってもらうにはどうしたら良いかと思案していた時に、偶然、三廻部地区以外の方とお付き合いする機会に恵まれ、野菜をおすそ分けをしてみました。するとその輪がだんだんと広がり、季節ごとに注文してくださる人も増えてきました。

年を経て作物も安定して栽培できるようになり親戚、友人、知人に野菜をお届けできるようにになり、楽しみでもあり喜びにもなっています。農協の西支所の直売所にも出荷しています。三廻部地区も高齢化や鳥獣被害で耕作地の荒廃が進んでいます。若い人達も、まずは自分の食べる野菜から手がけてはいかげでしょうか。

現在、私は退職後の夫と里芋、サツマ芋、ジャガイモ、そば、季節野菜を作っています。息子夫婦孫2人の家族でにぎやかに生活しております。今後、縁も人情も豊かなこの地で健康に気をつけながら変わらぬ暮らしができることを願っています。



都市農業振興計画を改定

秦野市農産課

農業者と市民が育む、 農のある快適なまち

多様な農業資源を生かし、地域と調和した持続可能な都市農業の実現



秦野市では、農業者、市民

関係団体と連携し、農業・農地がもたらす恵みを生かしたまちづくりの指針として、平成21年3月に「秦野市都市農業振興計画」を策定しましたが、策定から3年が経過し、時代に即した実効性のある計画の策定、取り組みをする必要があることから、計画期間を今年度から平成27年度までの4ヶ年とする新しい計画に改定しました。

① 鳥獣被害防除対策

② 耕作放棄地・荒廃農地の解消

③ 農地の利用集積の促進

③ 安全な農産物の生産・消費
による地産地消の実現

① 地産地消の推進

② 環境にやさしい農業の推進

③ 特産・振興農産物の普及・拡大

④ 農業に対する理解の促進と交流の活性化

① 体験型農業の拡充

② 食農教育の推進

◎ 主な重点施策・事業

1 農業経営の安定化と担い手の育成・確保

① 認定農業者の育成

② 農業経営の合理化の促進

③ 新たな担い手の育成・確保

2 農地の保全と農地の持つ多面的機能の活用



平成24年度

秦野市農業関係予算

農業振興費	27,443千円
園芸畜産費	9,016千円
農地費	50,640千円

*事業内容等のお問い合わせは、農産課、森林づくり課へ

平成24年度の 主な取り組み

① 農業経営の安定化と担い手の育成確保

・本市の中核的な農業者である認定農業者を中心とした「秦野市認定農業者協議会」が実施する取り組みに対して引き続き支援し、認定農業者の経営の安定化並びに育成を図っていきます。



・農産物に対する安全・安心志向が進む中、新鮮で安全な農産物の生産・供給を図るため、農業者・流通関係者・市民が一体となった産地ブランドの構築による地産地消や環境にやさしい農業の推進を図ります。

③ 安全な農産物の生産・消費による地産地消の推進



・本市の地域特性と地域資源を生かした観光農業等を促進し、農業・農産物に対する理解を深めるため、各種掘り取り観光、農園ハイイクや農産物オーナー制度などの体験型農業の拡充に努めるとともに、農業・農地や食の重要性を市民に伝えるため、食育・食農教育の推進や市民との交流事業の展開を図ります。

② 農地の保全と農地の持つ多面的機能の活用
・農地の保全と農業生産基盤整備の推進による農地の耕作環境の向上を目的に、水路・農道整備、農作物被害防除対策、荒廃・遊休農地解消や農地の利用集積を促進します。

④ 農業に対する理解の促進と交流の活性化
・本市の地域特性と地域資源を生かした観光農業等を促進し、農業・農産物に対する理解を深めるため、各種掘り取り観光、農園ハイイクや農産物オーナー制度などの体験型農業の拡充に努めるとともに、農業・農地や食の重要性を市民に伝えるため、食育・食農教育の推進や市民との交流事業の展開を図ります。





Q 認定農業者になると農業的な政策支援が受けられると聞きましたが、認定農業者とはどのような農業者でしょうか。

A 認定農業者とは、農業経営基盤強化促進法に基づき、効率的で安定した魅力ある農業経営を目指す農業者が、自ら作成する農業経営改善計画を市に提出し、その計画が認定された農業者です。

◎「農業経営改善計画書」とは…

農業経営に関して5年後の目標を記載した計画です。経営規模、生産方式の合理化、経営管理の合理化、農業従事者の様態等に関する改善の目標を記載します。

◎メリットは…

現在、農業的な政策支援を

受けるうえで、認定農業者であることは、最低条件となっています。また、政策資金の融資、機械や施設等の税制の特例、農業者年金の保険料の政策支援や農用地の利用集積を優先的に受けられるなどのメリットがあります。

しかし、本当のメリットは、日頃から頭の中で考えている農業経営に関することを文書化し、経営の改善・発展に取り組む姿勢を内外にアピールし、経営者としての自覚を高めていくことです。

◎認定農業者に対して、市の支援は…

秦野市では、認定農業者の農業設備投資に対して補助金を交付しております。対象事業は、農業以外に汎用性のない施設や機械等です。また、認定農業者で組織する「秦野市認定農業者協議会」もあり、認定農業者の経営改善活動をサポートしています。

認定農業者制度については、市農産課にご相談ください。

◆問い合わせ先 82-9626

農業委員会活動報告
(平成24年3月～6月)

- 総会
3月26日、4月25日、5月25日、6月20日
- 運営委員会
3月16日、4月17日、5月17日
- 農政活動協議会役員会
5月17日



農地転用には許可が必要です。

市街化調整区域内の許可申請は毎月10日までです。(事前に相談が必要になりますので、早めに相談してください。)

市街化区域の届出は随時受け付けています。
*手続き方法などについては、農業委員会は、農業委員会にご相談ください。



総会の主な審議案件と件数 (3月～6月)

審議案件	件数	面積
耕作目的の売買・賃貸 (3条許可)	8件	12,598.42㎡
市街化調整区域内の転用 (4・5条許可)	8件	5,490.48㎡
市街化区域内の転用 (4・5条届出)	99件	51,857.38㎡
相続等による農地取得の届出 (3条届出)	29件	86,311.59㎡
相続税納税猶予	1件	1,242.00㎡

平成24年度全国情報会議 普及優秀農業委員会表彰

4月10日、東京都文京区の椿山荘で全国農業会議所主催の全国情報会議が開かれ、「農業委員会だより」全国コンクール、優良情報活動の表彰などを受けた農業委員会関係者など約650人が参加しました。

全国農業新聞の普及拡大に顕著な成績をおさめたとして普及優秀農業委員会として表彰されました。

秦野市農業委員会は、情報活動功労者として和田稔農業委員会会長をはじめ6名の農業委員が表彰され、さらに、



賞状を受け取る和田稔農業委員会会長

ご購読を 全国農業新聞

全国農業新聞は農業者の公的代表機関である農業委員会系統組織が発行する週刊の農業総合専門誌です。

◎毎週金曜日発行
◎購読料 月600円

お申し込みは、地元の農業委員 または、農業委員会へ電話82-9654



夏休みの思い出に.....

デントコーン迷路



後継者クラブ秦友会が、親子で参加できる迷路を牛の飼料となるデントコーン（トウモロコシ）でつくりました。みなさん体験してみませんか？

◎開放期間 7月21日(土)～9月2日(日)まで

◎場所 上大槻847番地付近

* 8月4日(土)には、クイズウォークラリーや農産物の直売などイベントも開催します。

問い合わせ先 JAはだの組織教育課 81-7714

今からでも遅くない！

農業者年金に加入しませんか

少子高齢化に強い
積立方式（確定拠出型）年金

掛け金は月2万円から6万7千円の間を千円単位で選べ、いつでも自由に増減変更ができます。加入は60歳になる前月までいつでも加入できます。もちろん50歳代の方も加入できます。また、加入、脱退も気軽にできます。

☆農業者の方なら広く加入できます。

60歳未満の国民年金第1号保険者であって、年間60日以上農業に従事している方であれば、男女の区別なく誰でも加入できます。配偶者や後継者など家族農業者従事者の方も加入できます。

☆終身年金で80歳までの保証付きです。

農業者老齢年金は、原則65歳から生涯受け取る取ることができる終身年金です。仮に80歳前に亡くなられた場合でも、80歳までに受け取るはずであった農業者老齢年金の額の現在価値に相当する額を、ご遺族に死亡一時金として支給します。

〈問い合わせ〉

農業委員会事務局 82-9654

J Aはだの営農課 81-7718



カメラスケッチ



女性パワーで！



第37回秦野市商工まつりにて、女性農業者で結成された「秦野たけのこ研究会」が苜蓿ご飯等を販売し、秦野産のたけのこをアピール。



援農ボランティア

カーネーション片づけ隊



女性でも簡単にできました。



6月2日、全国農協観光協会によるグリーンツーリズムの援農事業が行われ、東京などから29人が参加し、カーネーション農家の手伝いをしました。

新編集委員紹介



新委員一同、新たな気持ちで頑張ります。ご協力お願いいたします。

写真右から

伊藤 伸一（大根地区）

内田 保（上地区）

○大津 繁（東地区）

林 道弘（北地区）

○関野 進一（西地区）

清水富美子（議会推薦）

石井 弘（本町地区）

◎委員長

○副委員長

編集後記

新農業委員による新しい農業委員会がスタートしました。これからも多くの皆さんに読んで頂けるよう、読みやすく、親しみやすい広報紙作りに心がけていきたいと思えます。試行錯誤の編集が続くと思えますが、皆さんのご意見、ご要望をお待ちしております。

（編集委員 石井 弘）

